あさご ASAGO

朝来市議会

議会だより 第52号

2015（平成27）年12月4日発行

議会運営委員会

吉田俊平　村田公夫　渕本　稔
○鈴木逸朗　◎能見勇八郎　波多野　優

総務常任委員会

嵯峨山　博　森下恒夫　川井康充
○鈴木逸朗　◎村田公夫　山本正之

文教民生常任委員会

丸尾行子　上田幸広　西本英輔
○小出信篤　◎渕本　稔　木村圭介

産業建設常任委員会

吉田俊平　日下　茂　太田則之
○岡田和之　◎波多野　優　能見勇八郎

◎委員長　○副委員長

▶建設が進む新庁舎

■第15回（11月）臨時会

議会構成決まる！

正副議長あいさつ、議会の構成・・・・・・2～3
管外視察報告、請願審査・・・・・・・・・4～5
お知らせ、賛否の状況・・・・・・・・・・・6

発行：朝来市議会／編集：議会広報特別委員会 TEL 079－676－2082 FAX 079－676－2083

議会の構成決まる！
議長に山本正之 議員、副議長に木村圭介 議員

11月2日の第15回臨時会において、議会構成に係る役員改選を行いました。
当日は、議長、副議長をはじめ、常任委員、議会運営委員、一部事務組合議会議員、本庁舎整備特別委員及び議会広報特別委員を選出したほか、市長提案による、議会選出の監査委員の選任に同意しました。

誰もが安心して暮らせる まちづくりを目指します

議長　山本正之

過ぐる11月2日の臨時会において、議員各位の推挙により議長に就任いたしました。身に余る光栄と受けとめ、今後、先輩議員、同僚議員各位のご指導とご協力を得ながら、議長の職責を全うすべく誠心誠意取り組んでまいりたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

朝来市では、市内各学校の耐震補強工事をはじめ、多くの事業を行い、去る6月には、合併10周年記念式典を行い節目の年を迎えました。また、長年交流のある壱岐市と友好都市提携を結び、より一層の交流を深めることとなりました。現在、市のシンボルとなる新庁舎、（仮称）朝来医療センター、保健センター・南但休日診療所の建設等、大きな事業が進行中です。これらの施設が完成すれば、周辺地域はもちろん市全体にとって、経済をはじめいろいろな面において活性化につながることは間違いありません。

しかしながら、現在、人口減少問題に直面しており、総合計画、創生総合戦略においても人口問題を最優先課題とし、市をあげて市民と一緒になって英知を結集し、あらゆる施策で人口増を図る必要があります。また、観光面においては竹田城ブームを一過性のものとせず、引き続き「保存と活用」の両面を大切にしながら、地元地域はもちろん、市全体の発展に繋げていきたいと思います。

最後になりましたが、市民の皆様のご健勝とご多幸をお祈りするとともに、より一層のご指導、ご鞭撻を心からお願い申し上げ、議長就任の挨拶とさせていただきます。

朝来市創生の礎に

副議長　木村圭介

臨時会において、多くの議員のご推挙をいただき、副議長に就任いたしました。議長を支え、議会と当局が両輪となり、議論できる場を構築すべく頑張ってまいります。ご支援よろしくお願いいたします。

さて、朝来市は合併10年が過ぎ、28年度完成予定の新庁舎、（仮称）朝来医療センターや各学校の耐震化事業等多くのハード事業が行われています。一方、国を挙げて人口減少問題に取り組むなか、市においても昨年より、第2次朝来市総合計画に基づき、移住・定住施策が行われています。本年には、創生総合戦略が策定され、人口減少問題を市政運営の根幹をなすものと認識し、地域コミュニティ、市民生活、地域経済などあらゆる分野がその対象となります。

兵庫県の推計では、2055年の朝来市の人口推計が、19,113人となっており、また国立社会保障・人口問題研究所の推計では、16,875人となっております。厳しい数値ですが、総合計画が示している21世紀中頃で概ね25,000人を目標に、市を挙げて進むしかありません。

創生総合戦略には、朝来市を担い貢献していく「ひと」をつくり、その「ひと」が魅力ある多様な「しごと」をつくり、その「人」「仕事」が希望を持ち、心豊かな暮らしを営める「まち」をつくるとあります。この好循環を確立させるため、また、数年後に来る市の財政が厳しい状況になることを見据えて、今後2年間努力してまいります。

最後に、市民の皆様のご健勝とご多幸をお祈りし、就任の挨拶といたします。

臨時会

議会の構成

議　長	山本正之
副議長	木村圭介

▶議長の選挙を投票で行いました

議会選出監査委員
太田則之

議会運営委員会
◎　能見勇八郎
○　鈴木逸朗
吉田俊平
波多野　優
渕本　稔
村田公夫

常任委員会

総　務
◎　村田公夫
○　鈴木逸朗
嵯峨山　博
川井康充
森下恒夫
山本正之

文教民生
◎　渕本　稔
○　小出信篤
上田幸広
木村圭介
丸尾行子
西本英輔

産業建設
◎　波多野　優
○　岡田和之
吉田俊平
太田則之
日下　茂
能見勇八郎

特別委員会

議会広報
◎　森下恒夫
○　岡田和之
嵯峨山　博
上田幸広
川井康充
西本英輔

本庁舎整備
◎　日下　茂
○　村田公夫
岡田和之
木村圭介
丸尾行子
能見勇八郎

一部事務組合議会議員

南但広域行政事務組合
吉田俊平
太田則之
丸尾行子
西本英輔
渕本　稔
山本正之

公立豊岡病院組合
鈴木逸朗
波多野　優
日下　茂
能見勇八郎

◎委員長　○副委員長
正副委員長を除く委員は議席番号の順に記載

会派の構成

清風の絆
◎　能見勇八郎
川井康充
小出信篤
太田則之
渕本　稔
村田公夫
山本正之

仁志会
◎　波多野　優
嵯峨山　博
吉田俊平
木村圭介
丸尾行子
森下恒夫

日本共産党議員団
◎　鈴木逸朗
岡田和之

朝来市議会公明党
◎　上田幸広

みらい
◎　日下　茂

市民の声を市政に届ける会
◎　西本英輔

◎代表者

文教民生常任委員会管外視察報告

富山型デイサービス、共生型グループホーム

1 調査事項及び調査先

①富山型デイサービス及びグループホーム等について
②富山県富山市
特定非営利活動法人にぎやか
特定非営利活動法人しおんの家
富山県厚生部厚生企画課

2 調査の概要

(1) 特定非営利活動法人 にぎやか

にぎやかの利用者が中心の「チームむら」メンバー（利用者2人と職員1人）から説明を受けた。利用者自身の活動により、報酬を得る体制がとられている。自分の居場所づくりを大切にして、乳幼児からお年寄りまでが無理なく自然体で利用されていた。

また、認知症対応型デイサービスでは、家族や職員、利用者みんなでの看取りを行う終の棲家として、最後まで面倒を見ていく方針がとられていた。

(2) 特定非営利活動法人 しおんの家

認知症対応型デイサービス、グループホーム、デイサービス、共生型グループホームが、それぞれ隣接して運営されている。できる限り自然な日常生活を目指し、その一環として、施設ごとに食事の献立が異なり、利用者自身の希望により買物、調理等がなされ、これに利用者が積極的に関わる機会を提供するなど、利用者が自信と生きがい、笑顔を取り戻していけるよう配慮されている。

今後は、各施設が独立経営を継続し、人材の育成により、ケアの質の向上を目指している。

▲「しおんの家」で利用者の憩いの場を見学しました。

(3) 富山県厚生部 厚生企画課

富山型デイサービスは、子どもからお年寄り、障害のある方が互いに自然な形で触れ合い、大家族のように暮らせるサービスを提供するものである。

富山県としては、施設整備に対する助成や職員研修の充実、特区制度を活用した特例措置等を求めて国への働きかけを行い、関係者の取組を積極的にサポートしている。

平成23年12月に国から「とやま地域共生型福祉特区」の指定を受け、規制緩和により、富山型デイサービス事業所での障害者の福祉的就労や、認知症高齢者と障害者のグループホームが一体化した「共生型グループホーム」において施設内の設備の共用が可能になった。

3 委員会の意見

(1) 富山型デイサービス及びグループホームの理念

富山型デイサービスと呼ばれる複合機能を持った事業展開は、元看護師の惣万佳代子さんが「地域で支援の必要な方は、高齢者だけではない、支援に必要な方は誰でも受け入れたい」、「遠く離れた施設で暮らすより、自宅に帰りたい」と思う人が多いことから、制度の壁を乗り越えて必要な人に必要なサービスを同じ施設内で行いたいと、強い思いを持って実行したことから始まる。

(2) 事業実施の実態

①ふれあいコミュニティ・ケアネット事業

この事業は、富山県社会福祉協議会が中心となり、概ね旧小学校区（300地区）からなる地区に複数のケアネットチームを作り、要支援者の見守り、安否確認、個別支援等を実施するものである（ケアネット21）。

朝来市の地域包括ケアシステムが高齢者のみを対象としているのに対して、富山県のケアネット21は、高齢者、障害者や健康や生活に不安のある方、介護や子育てに悩んでいる方、母子家庭等の支援が必要な世帯などを対象としており、より発展した形態となっている。地域の人々自らがチームをつくり、見守り、声かけ、話し相手、草むしり、外出付き添い、花の水かけ、ゴミ出し、買物支援など幅広く活動している。地域共生社会の形成を目指す住民参加による福祉コミュニティづくりは、素晴らしい取組である。

平成26年現在で、県下243地区、3,104チームが活動されている。地域の要支援者の把握は、近隣住民・委員との連携の上、社会福祉協議会に連絡する体制になっている。エリアに配置されているケアネットコーディネーターの意見を聴き、検討会議で支援を決定、支援プログラム作成の手順となる。平成26年度の要支援者数は5,395人で、そのうち支援実施者数は5,085人（94.25%）、支援を拒否された方は310人。拒否の理由は、主にプライバシー問題であり、ケア実施者に対する個人情報保護に係る指導・研修の徹底が重要である。

②デイサービス「にぎやか」

デイケアハウス「にぎやか」は、民家仕様の施設になっている。

Ⅰ死ぬまで面倒をみます。
Ⅱいい加減ですいません。
Ⅲありのままを受け入れます。

という3つの理念によって、

▲「にぎやか」で「チームむら」による説明を聴く。

同じ悩み、同じ苦しみを抱えた者同士が一番の理解者であり、共に支え合いながら過ごしている。利用者はサービスを受けに来ているのに、必要に応じてスタッフにもなっている。利用者に居場所と出番がある。「にぎやか」は富山型デイサービスを象徴する施設である。

③グループホーム

「しおんの家」

「しおんの家」は4施設で構成されているが、そのうち「グループホーム愛」は、1階が認知症高齢者、2階が障害者の居室となっている珍しい施設である。入居している障害者は軽度の方で、自力で歩け、それぞれが関連施設で働いている。1階は介護保険法、2階は障害者総合支援法に基づくサービスを行っている。

▲「しおんの家」の居間でくつろぐ利用者。

外出支援サービスも行っているが、制度の適用外であることから自主事業として取り組み、登録した車・運転手にサービスを提供してもらう。利用者は800円を支払い、そのうち運転手には700円が入る仕組みである。

(3) 事業の経営状況

収支面では黒字となっているようだが、経営的には決して楽な状況ではない。必要経費を極力切り詰めながら運営されており、スタッフの苦労が分かる。事業者の強い信念の下、銀行融資を受け(NPO法人であっても今は融資を受けられる)、補助金なしで活動、自力自闘で介護、障害の両方に取り組んでいる。

当初は、事業者の自主事業として取り組み、事業者負担・利用者負担の中で運営していた。この富山型の経営は、構造改革特区の政策により全国展開が可能になっている。

(4) 朝来市として検討すべきこと

朝来市における地域ケアは全国でも評価されるものであるが、富山型共生福祉事業の良いところは大いに参考にして、朝来市型共生福祉の推進にできることから取り組んで行く必要があると考える。

小規模多機能型デイサービスやグループホーム、ふれあいコミュニティ・ケアネット21という富山型地域共生福祉は、「小さな拠点づくり」である。いわば小さなコミュニティの展開であり、地域における人材の育成・確保の観点からも、地域自治協議会が発足している朝来市において、重要な福祉施策、地方創生施策のヒントになる。

制度の壁・隙間はあるが、利用希望者のニーズに対応すること、地域住民が協力することにより、行政の縦割りを打破するという考え方は大いに参考にし、可能な限り実現に向けて取り組むべきである。

▲「にぎやか」では利用者を個別送迎します。

請願1件を趣旨採択

クラインガルテン伊由の郷の拡張に関する請願

この請願は、山内区から提出されたもので、9月定例会において産業建設常任委員会に付託され、閉会中の継続審査となっていました。委員会では「趣旨採択とすべきもの」と決定され、11月臨時会において全会一致で「趣旨採択」としました。

なお、委員会の審査意見は、次のとおりです。

審査意見

本件請願の趣旨は、周辺の環境保全を第一とし、産業廃棄物中間処理施設の操業を阻止するため、市に当該施設用地をクラインガルテン伊由の郷の拡張整備用地として取得するよう求めるものと理解する。

当委員会としては、住民が快適な環境の下での平穏な生活を望むことは当然のことであり、産業廃棄物処理施設の進出に反対する趣旨については理解するものである。

しかしながら、クラインガルテン伊由の郷の拡張については、新たに多大の財政負担を要し、市民の負担増につながること、産業廃棄物処理施設の進出阻止を目的とすることは、市内の他地域との公平性、市民に説明できる正当性の面で大いに疑問があることから、安易に判断されるべき事柄ではない。

「趣旨採択」とは

内容や趣旨は理解できるが、現在の財政、その他の事情もあって、直ちにこれの執行をせよという拘束力をもたせず、いずれかの機会に、状況によって、行政の上に反映させてはどうかというもの。

▲クラインガルテン伊由の郷と隣地との境界付近を調査しました。

本庁舎整備特別委員会の活動

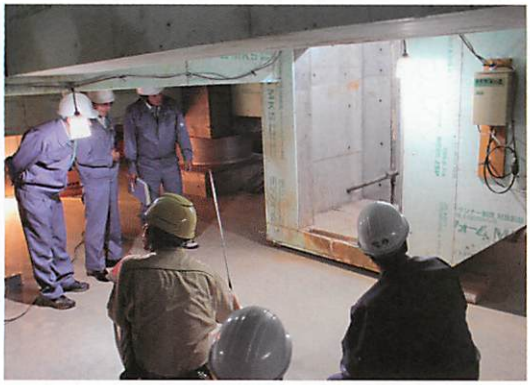
丸尾行子　木村圭介　岡田和之
能見勇八郎　◎日下　茂　○村田公夫

10月15日、現地調査を行い、工事の進捗状況について説明を受けました。12月には、5階部分の躯体を建築予定です。

庁舎の基礎である免震装置は、地震の揺れを10分の1に減少する効果が見込まれます。

また、11月臨時会で、山本正之委員が退任し、能見勇八郎委員が就任しました。

免震装置については、基礎の鉄板や重心のずれ、ゴムの劣化等を点検するとの説明を受けました。



免震装置の点検用階段は、床面から浮いており、地震時には庁舎の動きに連動します。

議会広報特別委員会

私たちが、「議会だより」を編集・発行します。

西本英輔　上田幸広　嵯峨山　博
○岡田和之　◎森下恒夫　川井康充

12月定例会の予定

12月 1日（火）議案審議
8日（火）一般質問
9日（水）一般質問
10日（木）一般質問
25日（金）議案審議

■本会議は、ケーブルテレビで生中継します。
■本会議・委員会の傍聴などお問合せは
議会事務局へ TEL 676-2082

11月臨時会で審議した議案に対する賛否の状況

議案名 ＼ 議員名		嵯峨山博	吉田俊平	岡田和之	鈴木逸朗	上田幸広	川井康充	小出信篤	太田則之	木村圭介	丸尾行子	波多野優	森下恒夫	西本英輔	日下茂	渕本稔	村田公夫	山本正之	能見勇八郎
請願第3号	クラインガルテン伊由の郷の拡張に関する請願書（趣旨採択）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
発議第7号	朝来市議会会議規則の一部を改正する規則制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

賛成した議員は○　反対した議員は●　欠席した議員は欠　※議長には表決権がありません。

発行日 平成27年12月4日
発行／兵庫県朝来市議会
住所／〒669-5192 兵庫県朝来市山東町楽音寺95番地
TEL 079-676-2082 FAX 079-676-2083

朝議 H27.12月 13,500部